



## LDAP システムの設定

---

Cisco Unified Communications Manager Release 5.0 以降では、ディレクトリの設定を次の 3 つの関連ウィンドウで行います。

- [LDAP システムの設定 (LDAP System Configuration)]
- [LDAP ディレクトリ (LDAP Directory)]
- [LDAP 認証 (LDAP Authentication)]

LDAP ディレクトリの情報と LDAP 認証の設定値を変更できるのは、お客様の LDAP ディレクトリからの同期化が [Cisco Unified Communications Manager の管理] の [LDAP システムの設定 (LDAP System Configuration)] ウィンドウで使用可能にされている場合のみです。

管理者は、このウィンドウを使用して LDAP 同期化を使用可能にし、LDAP サーバのタイプ、およびユーザ ID の LDAP 属性名をセットアップします。



(注)

DirSync サービスの LDAP ディレクトリ設定が作成されるか、LDAP ユーザの認証が有効になると、[LDAP システム情報 (LDAP System Information)] ウィンドウにある設定値は読み取り専用になります。

---

LDAP システムの情報を設定するには、次のトピックを参照してください。

- [LDAP システムの情報の更新 \(P.14-2\)](#)
- [LDAP システムの設定値 \(P.14-3\)](#)

### 追加情報

[P.14-4](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

## LDAP システムの情報の更新

LDAP システムの情報を更新する手順は、次のとおりです。

### 始める前に

このウィンドウにある [LDAP サーバからの同期を有効にする (Enable Synchronizing from LDAP Server)] チェックボックスの設定によって、管理者がエンド ユーザに変更を加えられるかどうかが決まります。LDAP の同期化はエンド ユーザにのみ適用され、アプリケーション ユーザには影響しません。LDAP の同期化の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「ディレクトリの概要」を参照してください。

エンド ユーザ データに関して、企業ディレクトリから同期される属性を管理者が [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウで更新することはできません。これらの属性は、企業ディレクトリ自体の内部でのみ更新できます。更新された後に、再同期化を実行する必要があります。



(注)

企業ディレクトリとの同期を行う前に、Cisco Unified Communications Manager データベースにエンド ユーザが存在していた場合は、企業ディレクトリに対応するユーザ ID のないエンド ユーザが削除されます。たとえば、ユーザ *bob* と *sanjay* が Cisco Unified Communications Manager データベースに存在しているが、*bob* のみが LDAP ディレクトリに存在していた場合、*sanjay* には非アクティブのマークが付けられ、最終的にはガベージ コレクタ プログラムによって削除されます。

### 手順

- ステップ 1 [システム] > [LDAP] > [LDAP システム] の順に選択します。
- ステップ 2 適切な設定値を入力します (表 14-1 を参照)。
- ステップ 3 [保存] をクリックして、変更内容を保存します。

### 追加情報

P.14-4 の「関連項目」を参照してください。

## LDAP システムの設定値

表 14-1 では、LDAP システムの設定値について説明します。関連する手順については、P.14-4 の「関連項目」を参照してください。

表 14-1 LDAP システムの設定値

フィールド	説明
<b>[LDAP システム情報 (LDAP System Information)]</b>	
[LDAP サーバからの同期を有効にする (Enable Synchronizing from LDAP Server)]	<p>お客様の LDAP サーバからのデータ同期化を使用可能にするには、このチェックボックスをオンにします。</p> <p>LDAP サーバとの同期化を使用可能にすると、次のような状態になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管理者は、企業ディレクトリと同期されないフィールド (属性) を除いて、エンド ユーザ データの内容を変更できません。エンド ユーザ データの例としては、ユーザの PIN があります。ただし、アプリケーション ユーザ データの内容はいつでも変更することができます。</li> <li>管理者は、LDAP ディレクトリの情報を変更することができます。</li> <li>管理者は、LDAP 認証の情報を変更することができます。</li> </ul> <p>LDAP サーバとの同期化を使用可能にしない場合 (同期化が無効になっている場合) は、次のような状態になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管理者は、LDAP ディレクトリの情報を変更できません。</li> <li>管理者は、LDAP 認証の情報を変更できません。</li> </ul>
[LDAP サーバタイプ (LDAP Server Type)]	<p>LDAP サーバとの同期化が使用可能になっている場合は、このドロップダウン リスト ボックスで次のいずれかを選択できます。お客様の LDAP サーバのタイプに該当する値を選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>[Microsoft Active Directory]</li> <li>[Netscape あるいは Sun ONE LDAP サーバ]</li> </ul>
[ユーザ ID 用 LDAP 属性 (LDAP Attribute for User ID)]	<p>LDAP サーバとの同期化が使用可能になっている場合は、ユーザ ID の LDAP 属性値を選択できます。ドロップダウン リスト ボックスから、次のいずれかの値を選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>[Microsoft Active Directory] の場合 : <ul style="list-style-type: none"> <li>[sAMAccountName]</li> <li>[mail]</li> <li>[employeeNumber]</li> <li>[telephoneNumber]</li> <li>[userPrincipalName]</li> </ul> </li> <li>[Netscape あるいは Sun ONE LDAP サーバ] の場合 : <ul style="list-style-type: none"> <li>[uid]</li> <li>[mail]</li> <li>[employeeNumber]</li> <li>[telephoneNumber]</li> </ul> </li> </ul>

## 関連項目

- [LDAP システムの設定 \(P.14-1\)](#)
- [LDAP システムの情報の更新 \(P.14-2\)](#)
- [LDAP システムの設定値 \(P.14-3\)](#)
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「ディレクトリの概要」
- [LDAP ディレクトリの設定 \(P.15-1\)](#)
- [LDAP 認証の設定 \(P.16-1\)](#)
- [アプリケーションユーザの設定 \(P.105-1\)](#)
- [エンドユーザの設定 \(P.106-1\)](#)
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「アプリケーション ユーザとエンド ユーザ」